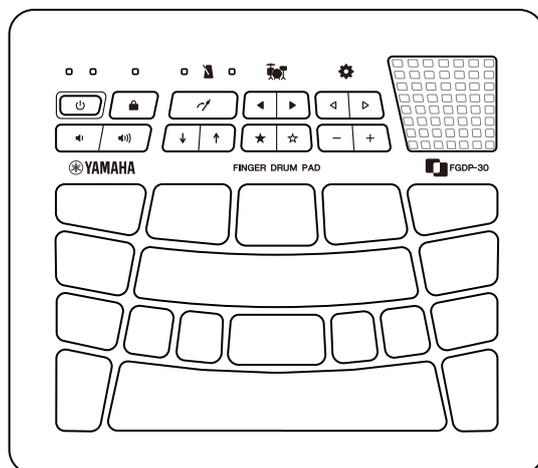




フィンガードラムパッド

FGDP-30 ユーザーガイド



- このガイドに掲載されている「**⚠注意**」には、お客様やほかの方々が傷害を負うことを防ぐため、守っていただきたいことが記載されています。
- このガイドに掲載されている「**ご注意**」には、製品の故障や誤動作、お客様のデータの損失を防ぐため、守っていただきたいことが記載されています。
- このガイドに掲載されている「**NOTE**」には、使用時の注意点や補足情報が記載されています。
- この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて説明のためのものです。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- macOS、App Store は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- IOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Android、Google Play は Google LLC の商標です。
- MIDI は社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- その他、本サイトに記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

はじめに

- ・フィンガードラムパッドは、指で演奏するドラムです。フィンガードラム経験者から、これからフィンガードラムに挑戦したい初心者、手軽に演奏を楽しみたいドラマー、独創的なリズムを作りたい作曲者まで「誰もが場所や時間を選ばずに楽しめるモバイルドラム」を目指して作られました。フィンガードラムに最適化された本製品で、フィンガードラムの世界をお楽しみください。

取扱説明書について

本製品には、次の2種類の取扱説明書が用意されています。

スタートアップガイド(製品同梱/紙)	<p>本製品をすぐにお使いいただけるよう、情報を絞って説明しています。本製品ご使用前に、スタートアップガイド冒頭にある「安全上のご注意」を必ずお読みください。</p> <p>なお、スタートアップガイドはヤマハ ダウンロードのウェブサイトからご覧いただくこともできます。以下のウェブサイトを開き、「モデル名から検索」テキストボックスにモデル名「FGDP」などと入力して検索してください。</p> <p>ヤマハ ダウンロード https://download.yamaha.com/jp/</p>
ユーザーガイド(本サイト/HTML)	<p>スタートアップガイドに記載された内容も含め、本製品に関するすべての情報を説明しています。</p>

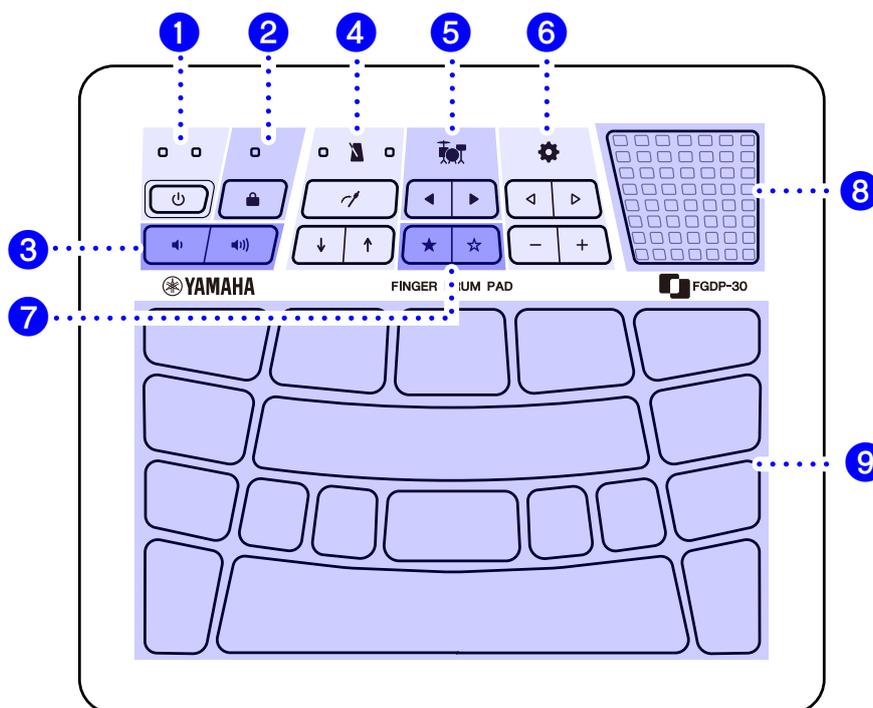
同梱品

- ・スタートアップガイド ×1
- ・My 楽器/My オーディオ登録のご案内 ×1
- ・USB A - micro-USB B ケーブル(1.5 m) ×1

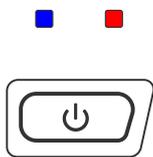
各部の名称と機能

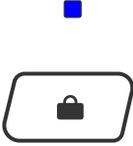
上面

本製品の上面にある操作子は、機能を使うためのボタン群と演奏のためのパッド群の大きく2種類に分かれます。



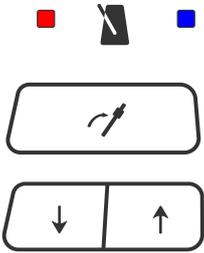
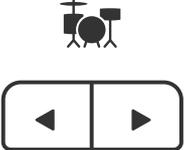
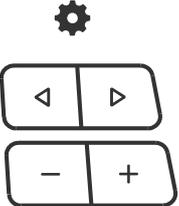
機能ボタン群 ①-②

①		<p>スタンバイ/オンインジケータ(青)(赤)</p> <p>スタンバイ/オンボタン</p> <ul style="list-style-type: none">・本製品の電源をオン/オフしたり、本製品の充電状態やバッテリーの残量をインジケータで確認したりします。電源オン/オフについてはこちら、充電についてはこちら、バッテリーの残量確認についてはこちら。
---	---	--

<p>2</p>		<p>ロックインジケータ ロックボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> 演奏中に関係ないボタンに触れても動作しないよう、パッド、、および本ボタン以外のボタン操作を一時的に無効(ロック状態)にします。詳細はこちら。
----------	---	---

機能ボタン群 3-7

- ボタン操作をしたときに鳴る音の音量は「メニュー4 [Mixer Operation Sound Volume](#)」で調節します。
- 音声ガイドの音量は「メニュー5 [Mixer Voice Guide Volume](#)」で調節します。

<p>3</p>		<p>ボリュームダウンボタン(左)、ボリュームアップボタン(右)</p> <ul style="list-style-type: none"> 内蔵スピーカーや[PHONES/OUTPUT]端子に接続したヘッドホンなどから出力されるサウンドの音量を調節します。詳細はこちら。
<p>4</p>		<p>クリックインジケータ(赤)(青) クリックボタン テンポダウンボタン(左)、テンポアップボタン(右)</p> <ul style="list-style-type: none"> クリック音を鳴らして、テンポを確認しながら演奏します。
<p>5</p>		<p>キット選択ボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> すべてのパッドの音(キット)を一括で切り替えます。詳細はこちら。
<p>6</p>		<p>項目選択ボタン マイナスボタン/プラスボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種設定を変更します。詳細はこちら。

7		レジストレーションメモリー★ボタン、☆ボタン ・設定を一括でボタンに登録しておいて、いつでもワンタッチで呼び出せます。詳細は こちら 。
---	---	--

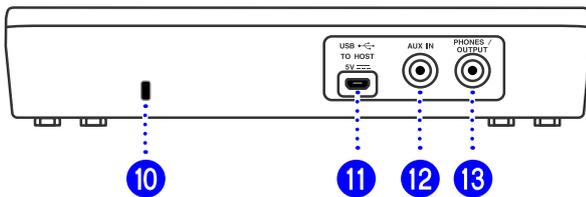
内蔵スピーカー ⑧

8	内蔵スピーカー 演奏した音や本製品に接続した機器の音がここから出力されます。
---	--

演奏用パッド ⑨

9	パッド さまざまな音色(ボイス)が割り当てられており、叩くこと(ノートオン)でそれらが鳴ります。また、押し込むこと(アフタータッチ)で発音が自然に消えます。詳細は こちら をご覧ください。 また、各パッドには番号が割り振られています。詳細は こちら 。
---	---

背面



10		セキュリティーロット 市販品のセキュリティーワイヤーなどを接続して、本製品の盗難を予防します。
----	---	---

<p>11</p>	<p>USB  TO HOST 5V </p> 	<p>[USB TO HOST]端子</p> <p>micro-USB B の形状をした端子で、USB 機器を接続して、本製品を充電したり、オーディオを入出力したり、MIDI 信号を送受信したりします。充電についてはこちら。その他の詳細はこちら。</p>
<p>12</p>	<p>AUX IN</p> 	<p>[AUX IN]端子</p> <p>ステレオミニプラグに対応した端子です。電子鍵盤楽器や携帯用音楽プレーヤーなどを接続して、本製品にオーディオを入力します。詳細はこちら。</p>
<p>13</p>	<p>PHONES / OUTPUT</p> 	<p>[PHONES/OUTPUT]端子</p> <p>ステレオミニプラグに対応した端子です。ヘッドホンやネット配信機器などに接続して、本製品上の演奏音や本製品に入力されたオーディオを出力します。詳細はこちら。</p>

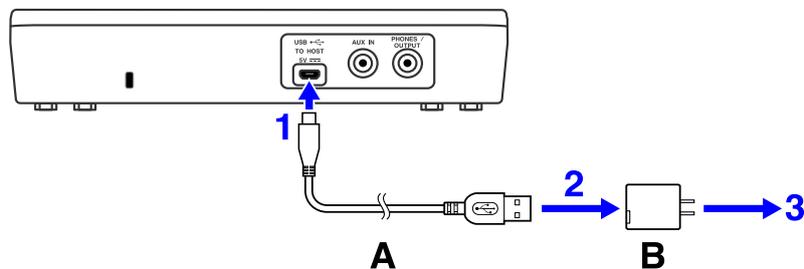
電源の準備

充電する

本製品は、コンセントまたは USB モバイルバッテリーに接続、充電することで使えるようになります。特に、購入後初めて使う場合は、以下の手順で満充電(本製品を電源に接続後、スタンバイ/オンインジケータ(赤)が消灯) になってからお使いください。

USB 電源アダプター(市販品) で充電する場合

次図に記した数字の順に接続します。

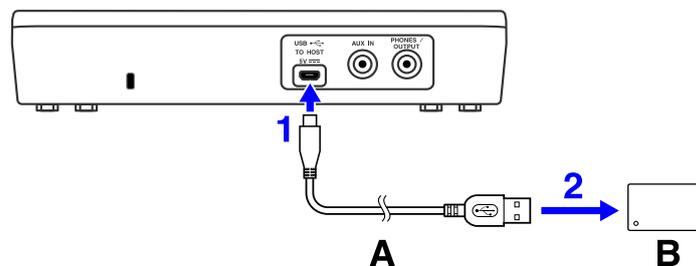


A. USB ケーブル(付属品)

B. USB 電源アダプター(市販品)

USB モバイルバッテリー(市販品) で充電する場合

次図に記した数字の順に接続します。



A. USB ケーブル(付属品)

B. USB モバイルバッテリー(市販品)

充電時のご注意

- 充電中も本製品をお使いいただけます。
- バッテリー異常時、スタンバイ/オンインジケータ(赤)が点滅します。
- バッテリー残量が少ない状態から満充電になるまでの時間の目安は電源がオフの状態です。1-3時間です。(※使用環境やバッテリーの使用状態によって異なります。)
- 満充電後に再度充電するには、USB ケーブルを挿し直す必要があります。

使用可能な USB 電源アダプター/USB モバイルバッテリー

出力電圧： DC 5 V

出力電流： 1.5 A 以上 ※USB BC 規格対応品

注意

USB BC 規格に適合し、電源供給ができるものを必ずお使いください。不適切な USB 機器を使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。接続について詳しくは、お使いになる USB 電源アダプターや USB モバイルバッテリーなどの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- USB モバイルバッテリーは、低電流モードなどを備え、消費電流が 25 mA 以下の機器にも給電できるものをお使いください。USB モバイルバッテリーで充電できない場合は、USB 電源アダプターでコンセントから充電できるかお試しください。
- 電源をオンにしてもすぐに切れたりする場合は、お使いの USB 機器が上記要件を満たしていないか、壊れている可能性があります。要件を満たしているほかの USB 機器でお試しください。それでも動作しない場合は、販売店、または[ヤマハ修理ご相談センター](#)にご連絡ください。

NOTE

1.5 A よりも出力電流の小さい USB 機器や USB 電源アダプターを使用した場合には、スタンバイ/オンインジケータ(赤)が点灯していても、電池残量が減っていく場合があります。

電源のオン/オフ



電源オン

スタンバイ/オンインジケータ(青)が点灯するまで、を長く押し続けます。

NOTE

- ・バッテリー残量がゼロに近い状態では、を押して製品をオンにしても、製品は自動的にオフになります。

電源オフ

スタンバイ/オンインジケータ(青)が消灯するまで、を長く押し続けます。

NOTE

- ・電源オフにより、本製品のほとんどの設定は維持されます。詳細は、[こちら](#)をご覧ください。
- ・バッテリー残量が少なくなると、スタンバイ/オンインジケータの左側(青)が3回点滅して、電源が自動的にオフになります。

バッテリー残量の確認

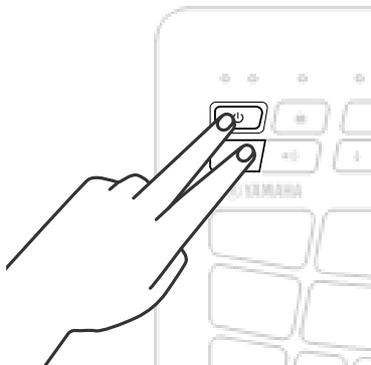
を短く押してすぐに離すと本製品はオフにならず、音声ガイドがバッテリー残量をアナウンスし、スタンバイ/オンインジケータの左側(青)が残量に応じて点滅します。100 - 90%で4回、80 - 60%で3回、50 - 30%で2回、20 - 0%で1回点滅します。

NOTE

- ・バッテリー残量が20 - 0%の場合は、を押さなくても30秒に1回、スタンバイ/オンインジケータの左側(青)が点滅します。

強制電源オフ

本製品が異常や停止(ハングアップ)した状態になって操作を受け付けなくなった場合は、とを同時に長く押し続けて、電源をオフにします。



ご注意

強制電源オフをしたときは、本製品の状態は自動保存されません。

オートパワーオフ機能

無駄な電力消費を防ぐため、本製品は一定時間操作がないと、スタンバイ/オンインジケータの左側(青)が2回点滅して自動的に電源がオフになります。電源がオフになるまでの時間は「メニュー62 [Utility Auto Power Off Time](#)」で変更します。

オートパワーオフを無効にしたい場合は、電源オフ時にとを同時に長く押し続けて電源をオンにします。スタンバイ/オンインジケータ(青)が2回点滅し、オートパワーオフが無効な状態(「メニュー62 [Utility Auto Power Off Time](#)」 = 「Disabled」)で製品が起動します。

外部機器との接続

[PHONES/OUTPUT] 端子

ステレオミニプラグの端子です。ヘッドホンや外部アンプ付きスピーカー、ネット配信機器などを接続して、演奏音や本製品に入力された別機器の音を出力します。

⚠注意

外部機器と接続するときは、すべての機器の電源をオフにした上で行ってください。また、電源をオン/オフする前に、必ず機器の音量を最小にしてください。感電、聴覚障害、または機器の損傷を防ぐためです。また、再生するスピーカーなどの損傷を防ぐため、外部機器の音量は最小にしてから接続してください。

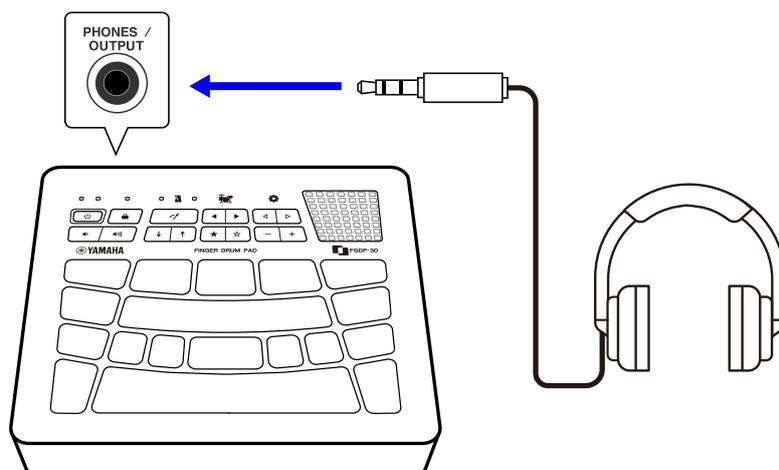
ご注意

外部機器の損傷を防ぐため、電源オン時は、先に本製品をオンにし次に外部機器をオンにしてください。電源オフ時は、先に外部機器をオフにし次に本製品をオフにしてください。

NOTE

初期設定では、ヘッドホンや外部機器を[PHONES/OUTPUT]端子に接続することで、内蔵スピーカーから音が出られなくなります。詳細は、「メニュー56 [Utility Speaker Output](#)」をご参照ください。

ヘッドホンを接続する

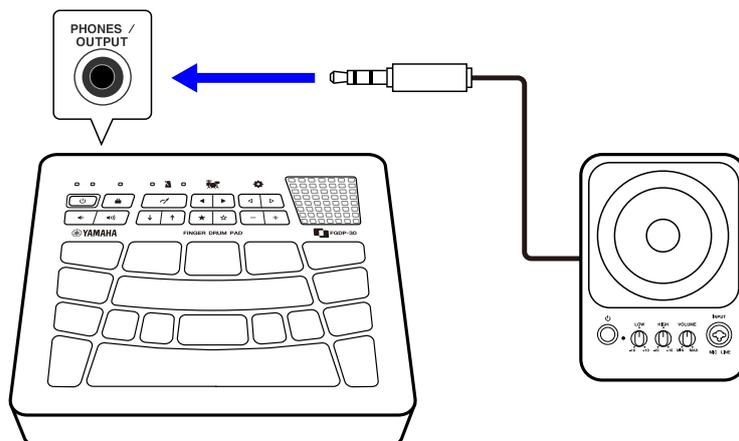


⚠注意

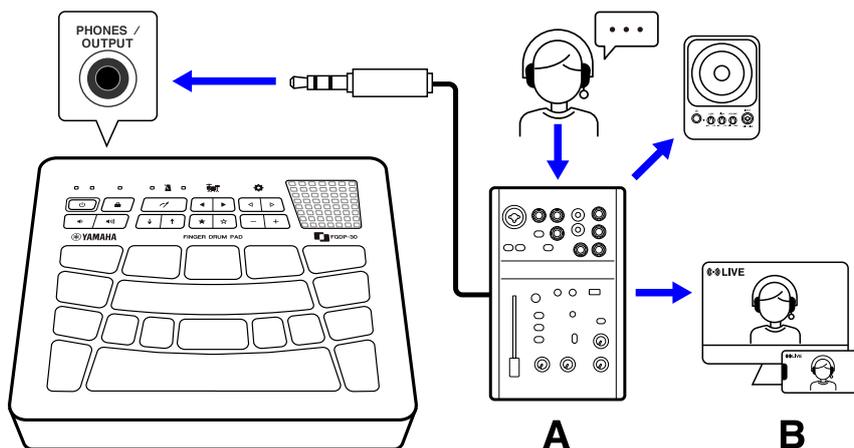
- ・大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

外部スピーカーやネット配信機器などに接続する

アンプ付き外部スピーカーに接続する



ネット配信機器に接続する

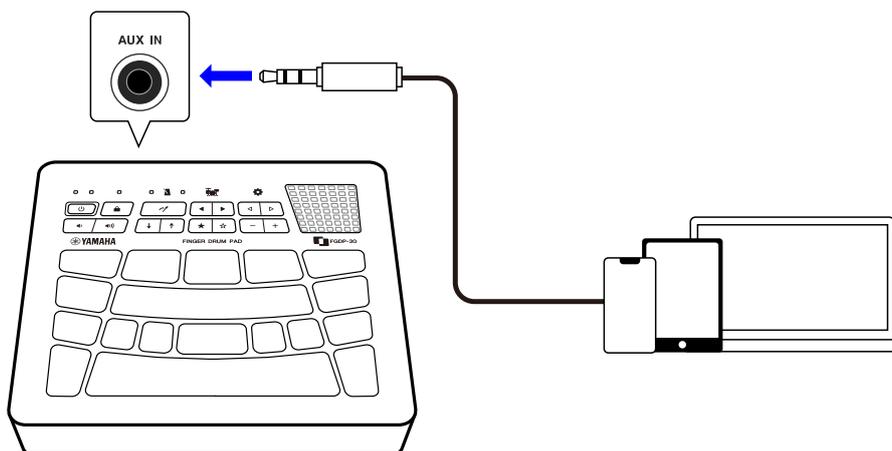


A ネット配信機器

B ストリーミング

[AUX IN] 端子

この端子にオーディオケーブルで接続することで、コンピューター/スマートデバイスなどのオーディオを、本製品から出力できます。



⚠ 注意

- ・本製品を外部機器と接続する場合は、すべての機器の電源をオフにしたあとで接続してください。感電、または機器損傷のおそれがあります。また、再生するスピーカーなどの損傷を防ぐため、外部機器の音量は最小にしてから接続してください。

ご注意

- ・外部機器の損傷を防ぐため、電源オン時は、先に本製品をオンにし次に外部機器をオンにしてください。電源オフ時は、先に外部機器をオフにし次に本製品をオフにしてください。

[USB TO HOST] 端子

本製品には[USB TO HOST]端子があります。



[USB TO HOST]端子ご使用時の注意

接触不良を防ぐため、USB ケーブルはコネクタ部(プラグ) を持って、正しい上下方向かつ水平方向に (斜めにならないように) 奥まで挿し込んでください。また接続後はコネクタ部(プラグ) に無理な力が加わらないようにご注意ください。併せて、製品同梱の取扱説明書に掲載されている「安全上のご注意」にある USB 関連の注意文もご参照ください。

- ・充電機器に接続する場合は、本ガイドの「[充電する](#)」に掲載されている注意文をご参照ください。
- ・コンピューターやスマートデバイスの機種、OS の種類によっては、ノイズの発生、もしくは使用できない場合があります。

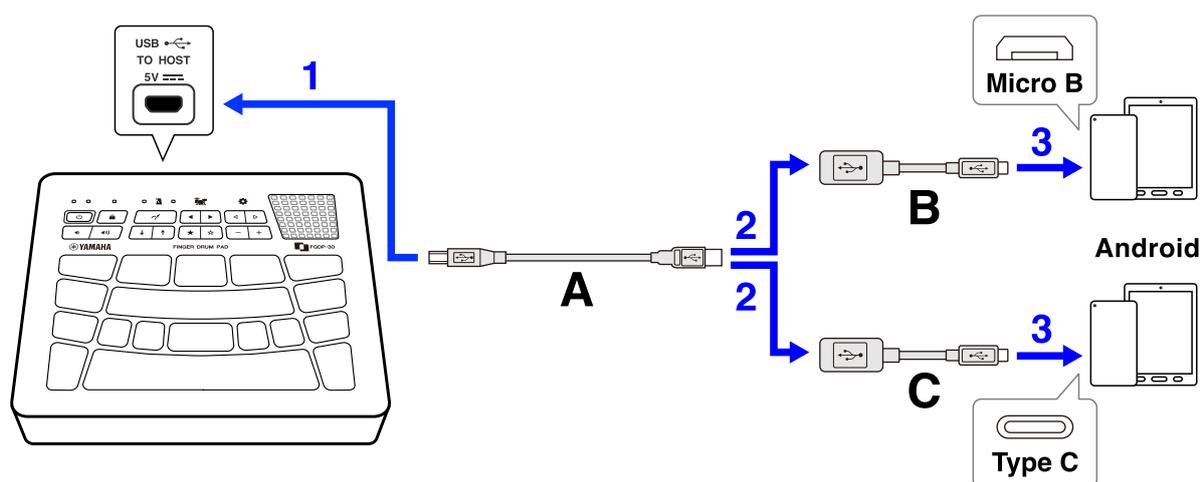
・スマートデバイスやコンピューターに接続した場合、異常や停止(ハングアップ) によるデータ損失を防ぐため、以下の点をおすすめします。

- 本製品のオン/オフや USB ケーブルの抜き差しをするときは、本製品での演奏を止め、すべてのアプリケーションを終了させてからにしましょう。
- 本製品の電源オン/オフや USB ケーブルの抜き差しは、6 秒以上間隔を空けましょう。

スマートデバイスやコンピューター、本製品が停止したときは、アプリケーションやスマートデバイス、コンピューターを再起動するか、本製品の電源を入れ直してください。

スマートデバイスへの接続 (Android)

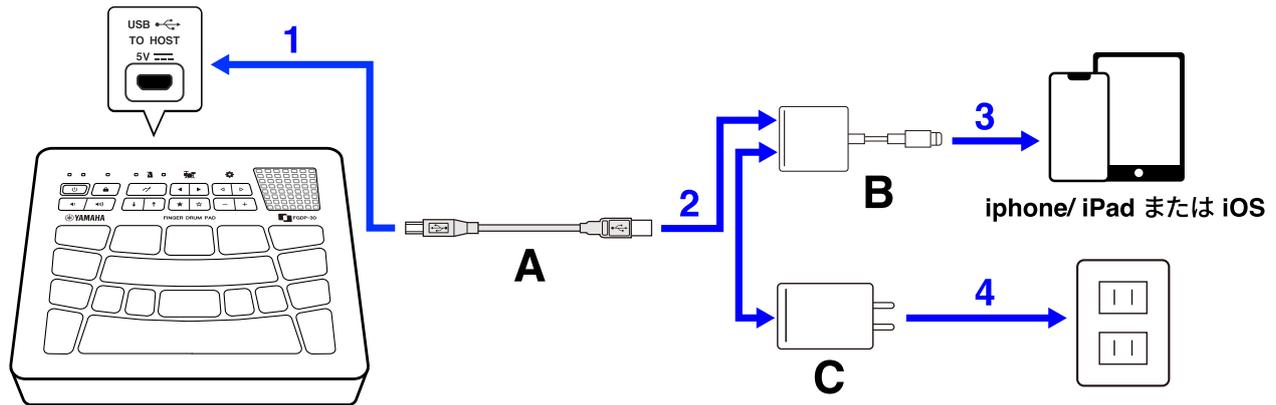
次図に示したケーブルを使い、数字の順番に沿って接続をしてください。



- A. 本製品に付属の USB ケーブル (Micro B オス-Type A オス)
- B. 別売の USB 変換アダプター (Type A メス-Micro B オス)
- C. 別売の USB 変換アダプター (Type A メス-Type C オス)

スマートデバイスへの接続 (iOS)

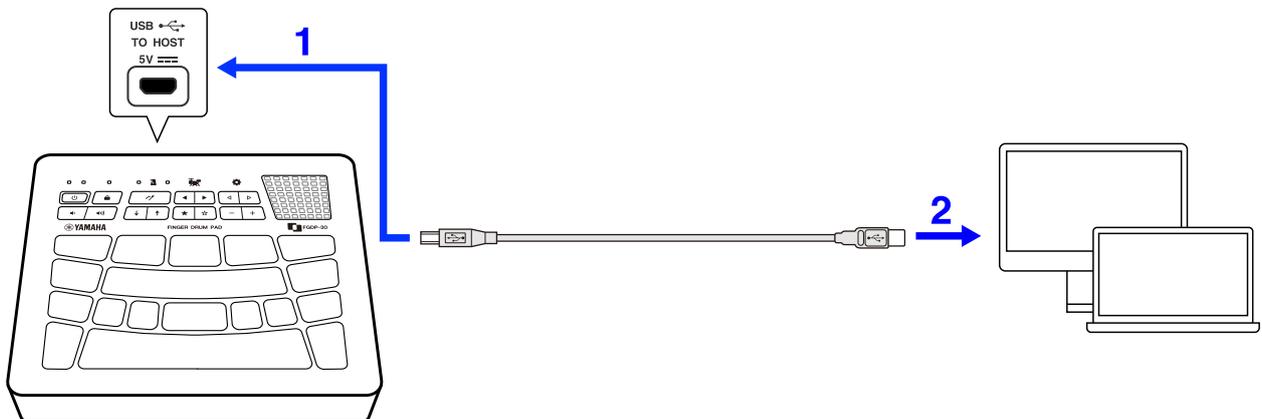
次図に示したケーブルを使い、数字の順番に沿って接続をしてください。



- A. 本製品に付属の USB ケーブル (Micro B オス-Type A オス)
- B. 別売の Lightning-USB3 カメラアダプター
- C. 別売の USB 電源アダプター

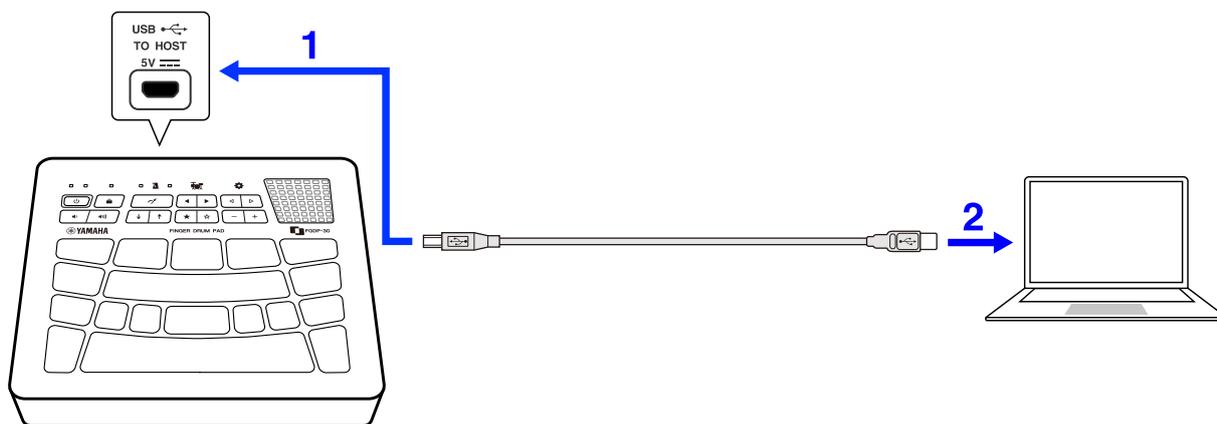
コンピューターへの接続 (Mac)

本製品に付属の USB ケーブルを使い、数字の順番に沿って接続をしてください。



コンピューターへの接続 (Windows)

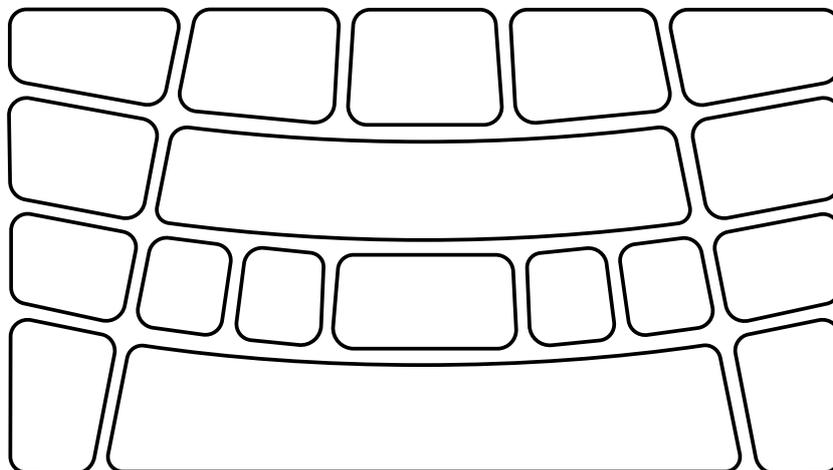
1. コンピューターに、Yamaha Steinberg USB Driver をインストールします。
Yamaha Steinberg USB Driver は、<https://download.yamaha.com/>から入手できます。
2. コンピューターの USB 端子と、本製品の[USB TO HOST]端子を、付属の USB ケーブルで接続します。



3. コンピューターで「Yamaha Steinberg USB Driver Control Panel」を開いて、「Device:」を「Finger Drum Pad」に設定します。

本製品のしくみ

パッド操作



本製品のパッドは、MIDI のノートオンだけでなくアフタータッチにも対応しているので、叩く強さに応じた音色が鳴るだけでなく、パッドを深く押し込むことで発音が自然に消えます。

パッド操作=発生する MIDI イベント

叩く = ノートオン

押し込む = アフタータッチ

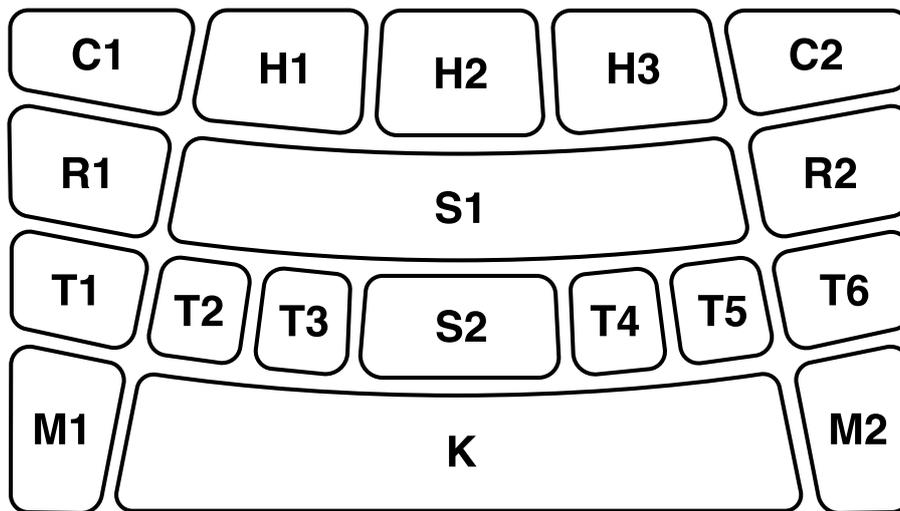
叩いたあとに押し込まない = ノートオフ

パッド番号

本製品のパッドには、番号が割り当てられています。説明の中で必要があれば、これらの番号を使ってパッドを特定します。また、左右対称となっているパッド同士については、割り当てられているボイスなどの設定も含め左右反転することができます。

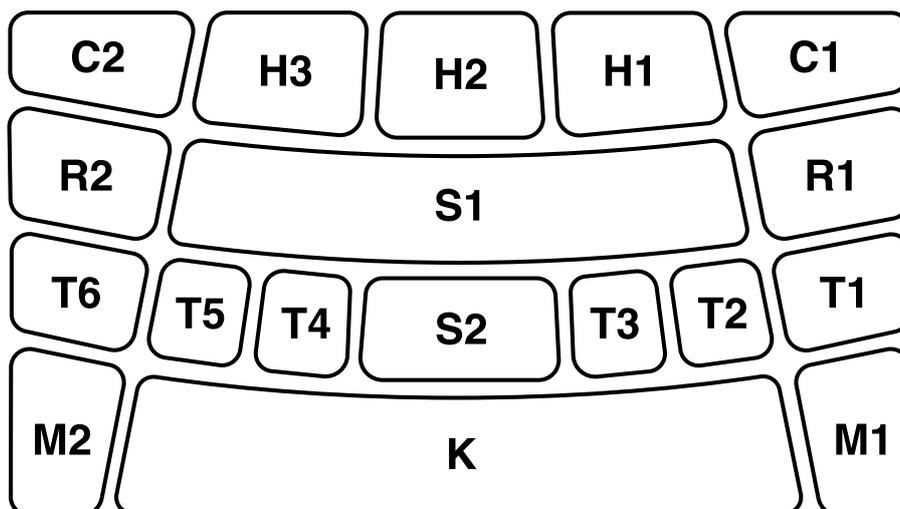
主に右手で演奏する場合

「メニュー59 [Utility Pad Layout](#)」 = 「Right」 (初期設定) の場合、パッド番号は次図のとおりです。主に右手でパッドを演奏する場合に演奏しやすい設定です。



主に左手で演奏する場合

「メニュー59 [Utility Pad Layout](#)」 = 「Left」の場合、パッド番号は次図のとおりです。
主に左手でパッドを演奏する場合に演奏しやすい設定です。



バックアップ対象項目 (電源オフでも設定が維持される項目)

次に列挙した項目の設定は、電源をオフにしても維持されます。

- [キット番号](#)
- [テンポ](#)
- 本製品のスピーカーから出力されるサウンドの音量 (詳細は[こちら](#))
- [PHONES/OUTPUT]端子から出力されるサウンドの音量 (詳細は[こちら](#))

• における設定

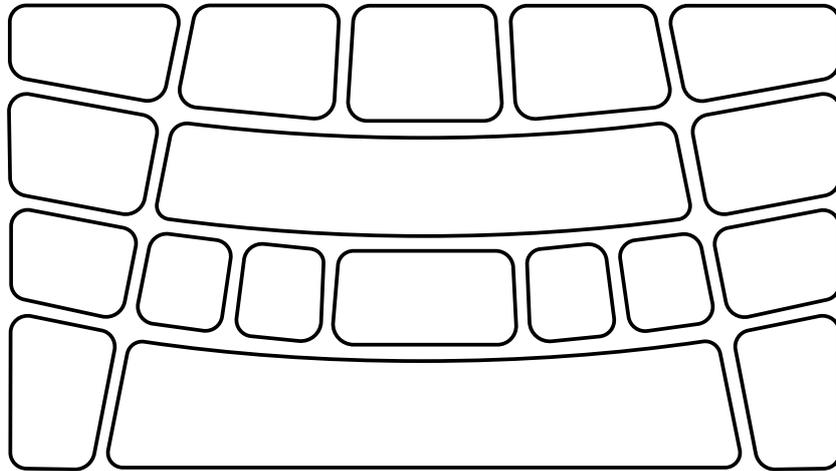
- [メニュー1-5](#) ミキサー関連設定（音量調節）
- [メニュー6-9](#) クリック関連設定
- [メニュー10-34](#) キット関連設定
- [メニュー36-52](#) トリガー番号(36)、トリガー関連設定(36-52)
- [メニュー55-62](#) ユーティリティ設定

NOTE

- キット関連設定については、あとで各キットを選択したときに、メニュー10-34の最後に設定された値が自動的に呼び出されます。
- トリガー関連設定については、あとで各トリガーを選択したときに、メニュー37-52の最後に設定された値が自動的に呼び出されます。

演奏する

パッドを指で叩くと、パッドに割り当てられている音が鳴ります。叩く強さに応じて、音の強弱も変わります。さらに押し込むことで発音が自然に消えます。



NOTE

- ・パッドに割り当てられている音は変更できます。詳細は[こちら](#)。
- ・パッドに割り当てられている音や設定の配置は「メニュー59 [Utility Pad Layout](#)」で左右反転できます。
- ・一定の[テンポ](#)に合わせて演奏したい場合は、[クリック音](#)を鳴らせます。
- ・本製品にオーディオ機器を接続することで、音楽に合わせた演奏ができます。詳細は[こちら](#)。

音量を調節する

内蔵スピーカーから出力される音量と[PHONES/OUTPUT]端子から出力される音量は別々に設定します。[PHONES/OUTPUT]端子にケーブルが接続されていないときは内蔵スピーカーの音量を、接続されているときは[PHONES/OUTPUT]端子から出力される音量を、調節します。

 を短く押すと音量が下がり、長く押している間は下がり続けます。

 を短く押すと音量が上がり、長く押している間は上がり続けます。

 と  を同時に押すと、音量が初期値に戻ります。

NOTE

- ・音量の初期値は、音量と音質のバランスが良い状態に合わせています。

・ / ではすべての音をまとめて上げ下げしますが、さまざまな音を個別に調節することもできます。詳細は[こちら](#)。

クリックを再生する/停止する

クリック音を鳴らして、テンポを確認しながら演奏します。

	<p>を押すたびにクリック音のオン/オフが切り替わります。</p> <p>クリック音に合わせて、クリックインジケータが点滅します。</p> <p>点灯するインジケータは、小節の最初の拍は赤、その他の拍は青になります。</p> <p>NOTE</p> <ul style="list-style-type: none">・クリック音の音量は「メニュー1 Mixer Click Volume」で調節します。・クリック音のリズムパターンは「メニュー6 Click Pattern」で調節します。・クリック音の1小節あたりの拍数は「メニュー7 Click Beats」で調節します。・クリック音の音色は「メニュー8 Click Voice」で調節します。・クリック音を止める小節数は「メニュー9 Click Count Off Bar」で調節します。
--	---

テンポを変更する

テンポ(♩=30 - 300)を変更します。テンポの値は、変更時に音声ガイドがアナウンスします。

<p>を押すとテンポが遅くなり、長く押している間は遅くなり続けます。</p> <p>を押すとテンポが速くなり、長く押している間は速くなり続けます。</p> <p> を同時に押すと、テンポが初期値(♩=120)に戻ります。</p> <p>を押しながらパッドのいずれかを3回以上叩くと、タップテンポ機能(Tap Tempo)により、パッドを叩いた間隔の平均時間でテンポが設定されます。</p>

キットを選ぶ(全パッド音を一括で変更する)

すべてのパッドに割り当てられた音をセットにしたものを、「キット」と呼びます。さまざまな音楽ジャンルに応じた「キット」が準備されていますので、好みのキットを選んで演奏をお楽しみください。

	  でキットを選びます。
	 や  を長く押し続けると、キットが連続して変化します。
	  を同時に押すと、キットが初期設定(No.1)に戻ります。
	NOTE <ul style="list-style-type: none">• 選択中のキットにつき、音量やエフェクトなど様々な設定ができます。⚙️のメニュー 10-34 をご活用ください。• 各キットでの編集内容は電源をオフにしても維持されます。各キットの編集内容を初期化したいときは、「⚙️メニュー35 Kit Initialize」で初期化します。

キットリスト

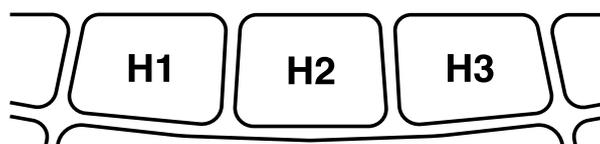
番号	キット名(音声)	説明
1	Maple	メイプルシェルのドラムセットを収録したキットです。温もりのあるサウンドと伸びやかなサスティンが特徴です。
2	EDM Red	エレクトロダンスミュージックの演奏に適したキットです。厳選されたキックとスネアを中心に即戦力となります。
3	Distortion Rock	ドラムセットのサウンドを全体的に歪ませたキットです。ロックでパンチのあるディストーションサウンドが特徴です。
4	House Rose	ハウスの演奏に適したキットです。無機質でタイトなサウンドが特徴です。
5	R&B	R&B の演奏に適したキットです。歴史的なリズムマシンからのサンプルを中心に構成されています。
6	Dub step Sun	ダブステップの演奏に適したキットです。タムに特徴的なベースサウンドが配置されています。
7	Big Beat	ビッグビートの演奏に適したキットです、エフェクトの歪みを活かした過激なサウンドが特徴です。
8	Gate	80年代に流行したゲートリバーブサウンドを彷彿とさせるキットです。
9	Hip Hop Gold	ヒップホップの演奏に適したキットです。ドライなスネアとオールド

		スクールなキックが特徴です。
10	Modern Jazz	ジャズの演奏に適したキットです。4ビート演奏の自由度を高めるために、ライドシンバルのボウがC1、C2に配置されています。
11	Oak	オークシェルのドラムセットを収録したキットです。重低音の力強さと中音域の豊かさが特徴です。
12	Birch	バーチシェルのドラムセットを収録したキットです。中低音のサステインと高音の鋭さが特徴です。
13	Beech	ビーチシェルのドラムセットを収録したキットです。粒立ちがはっきりとしたサウンドと硬くて深めの中音域が特徴です。
14	Garage Punk	パンクの演奏に適したキットです。攻撃的でファットなサウンドが特徴です。
15	Vintage 70s	70年代のロック黄金期を彷彿とさせる太くて暖かいビンテージサウンドが特徴です。
16	Funk	ファンクの演奏に適したキットです。タイトでドライなサウンドが特徴です。
17	Neo Soul	ネオソウルの演奏に適したキットです。演奏の要となるクラップとハイピッチでオープンなタムが特徴です。
18	Metal	ヘビーメタルの演奏に適したキットです。強いアタック感と粒立ちの良いキックが特徴です。
19	Phaser	"Birch"をベースに、フェイザーエフェクトを強めに掛けたキットです。
20	Digi Rock	エレクトロサウンドが融合した、ハイブリッドなロックの演奏に適したキットです。深いフランジャーエフェクトが特徴です。
21	Reggae	レゲエの演奏に適したキットです。ハイピッチなスネアとティンバレスが特徴です。
22	EDM Yellow	エレクトロダンスミュージックの演奏に適したキットです。スタジアムでの演奏を彷彿とさせるリバーブサウンドが特徴です。
23	EDM Green	エレクトロダンスミュージックの演奏に適したキットです。無機質でタイトなサウンドが特徴です。
24	House Mint	ハウスの演奏に適したキットです。迫力ある中低音のタムが特徴です。
25	Hip Hop Silver	ヒップホップの演奏に適したキットです。レイヤーされているスネアが特徴です。
26	Beat Box Pine	ビートボックスの演奏に適したキットです。全体的に中低音域に寄ったサウンドで迫力があります。

27	RX	伝統的なヤマハデジタルドラムマシン「RX シリーズ」のサウンドを収録したキットです。
28	T8	クラシックなアナログドラムマシンのサウンドを収録したキットです。80年代から現代まで幅広いジャンルで活用できます。
29	T9	クラシックなアナログドラムマシンのサウンドを収録したキットです。テクノやハウスの演奏に適しています。
30	Analog	クラシックなアナログドラムマシンのサウンドを収録したキットです。80年代のダンスミュージックの演奏に適しています。
31	Percussion Master	世界各地の様々な打楽器を集めたパーカッションキットです。セッションで即戦力となります。
32	Cuban	キューバ音楽の演奏に適したパーカッションキットです。ティンバレスが左右のパッドに配置されています。
33	Brazil	ブラジルの伝統的な打楽器を集めたパーカッションキットです。バトゥカーダの演奏に適しています。
34	Africa	アフリカの伝統的な打楽器を集めたパーカッションキットです。ジャンベの演奏を中心に配置されています。
35	Arabic	アラブの伝統的な打楽器を集めたパーカッションキットです。ダラブツカの演奏を中心に配置されています。
36	Indian Pop	インドの伝統的な打楽器とエレクトロサウンドを組み合わせたキットです。ボリウwoodsの演奏に適しています。
37	China	中国の伝統的な打楽器を集めたパーカッションキットです。パイグが左右のパッドに配置されています。
38	Japan	日本の伝統的な打楽器を集めたパーカッションキットです。C1 と C2 には特徴的なサンプルが配置されています。
39	Orchestra	オーケストラで使用される様々な打楽器を集めたパーカッションキットです。ティンパニが左右のパッドに配置されています。

チョーク設定を試してみる

「Kit 1 Maple」を選んだ状態で、パッド H1, H2, H3 を叩いてみましょう。



「メニュー59 [Utility Pad Layout](#)」 = 「Right」の場合

パッド H2(ハイハットオープンシンバル) を叩いたあとにパッド H1 または H3(ハイハットクローズシンバル)を叩くと、H2 の音(ハイハットオープンシンバル)が自然に消えることが確認できます。このような奏法については、以下の設定により実現しています。

- 「メニュー 19 [Kit Pad Choke Group](#)」

H1, H2, H3 がチョーク奏法のグループを形成するよう設定されています。ここでは3つとも「16」というグループに設定されています。

- 「メニュー 20 [Kit Pad Choke Mode](#)」

H1, H3 が音を消す側(Send)に、H2 が音を消される側(Receive)に設定されています。

特定のパッドの音を変更する(キットを編集する)

選んだキットに対して、たとえばキック(バスドラム)とスネアだけを別の音(ボイス)に変更したい場合、該当パッドの音(ボイス)を変更することができます。



1.   で「メニュー-23 [Kit_Voice_Category](#)」を選ぶ。
2. 音(ボイス)を変更したいパッドを叩く。
3.   でボイスカテゴリーを選ぶ。
選ぶたびに、カテゴリーの先頭ボイスが試聴音(オーディション)として鳴り、該当ボイス番号が選択されます。ボイスカテゴリーリストは[こちら](#)。
4.  で「メニュー-24 [Kit_Voice_Number](#)」を選ぶ。
5.   で好みの音(ボイス)を選ぶ。
選ぶたびに、該当ボイスが試聴音(オーディション)として鳴ります。ボイスリストは[こちら](#)。
別のパッドの音を変えたいときは、上記の手順を繰り返します。

NOTE

- 変更した音(ボイス)を初期設定に戻したいときは、  を同時に押しします。
- パッド音(ボイス)を変更したときに鳴る試聴音(オーディション)のベロシティは「メニュー-60 [Utility Audition Velocity](#)」で変更します。
- 各キットでの編集内容は電源をオフにしても維持されます。選択中のキットの編集内容を初期化したいときは、「メニュー-35 [Kit Initialize](#)」で初期化します。

ボイスカテゴリーリスト

番号	ボイスカテゴリー名(音声)
1	Acoustic Kick
2	Kick Electro
3	Snare Acoustic
4	Snare Electro
5	Tom Acoustic
6	Tom Electro
7	Hi-hat Acoustic

8	Hi-hat Electro
9	Cymbal Acoustic
10	Cymbal Electro
11	Percussion Acoustic
12	Percussion Electro
13	Clap
14	SE

ボイスリスト

[こちら](#)をご参照ください。

パッドの演奏感を変更する(トリガー)

感覚に合う演奏感が得られるように、用意されている複数の設定の中から好みの設定を選びます。本製品では、この設定を「トリガー」と呼びます。

トリガーを選択する

「メニュー36 [Trigger Select](#)」でトリガーを選びます。

さらに細かく調整したい場合は

選択中のトリガーの演奏感をパッドごとに調整します。

1. 演奏感を変更したいパッドを叩く
2. 「メニュー40 [Trigger A/D Gain](#)」、メニュー48 [Trigger After Touch Priority](#)」などを個別に変更する

NOTE

- ・編集したトリガーは、電源をオフにしても記憶されます。選択中のトリガーの全パッドを初期化したいときは「メニュー53 [Trigger Initialize](#)」で初期化します。

音楽に合わせて演奏する

外部機器の曲再生音を、本製品の内蔵スピーカーまたは本製品の[PHONES/OUTPUT 端子]に接続したヘッドホンなどで聞けます。曲再生に合わせてパッド演奏を楽しみましょう。

携帯音楽プレーヤーの曲再生と合わせて演奏する

1. 携帯音楽プレーヤーと本製品の[AUX IN]端子を、オーディオケーブルで接続します。
接続方法など詳細は[こちら](#)。
2. 携帯音楽プレーヤーで曲を再生します。

NOTE

パッド演奏音など本製品のサウンドとの音量バランスをとりたい場合は、携帯音楽プレーヤーの音量を調節するか、本製品の「メニュー2 [Mixer Aux In Audio Volume](#)」で調節してください。

コンピューター/スマートデバイスの曲再生と合わせて演奏する

1. コンピューター/スマートデバイスと本製品の[USB TO HOST]端子を、USB ケーブルで接続します。接続方法など詳細は[こちら](#)。
2. コンピューター/スマートデバイスで曲を再生します。

NOTE

- ・パッド演奏音など本製品のサウンドとの音量バランスをとりたい場合は、コンピューター/スマートデバイスの音量を調節するか、本製品の「メニュー3 [Mixer USB Audio Volume](#)」で調節してください。
- ・コンピューター/スマートデバイスのヘッドホン端子と本製品の[AUX IN]端子をオーディオケーブルで接続する方法もあります。
- ・「メニュー57 [Utility USB Audio Loopback](#)」 = 「On」に設定してある状態でコンピューター/スマートデバイスと本製品を USB 接続すると、オーディオループバックを構成することになります。詳細は[こちら](#)をご参照ください。

ボタン機能を無効にする(パネルロック)

演奏中に関係ないボタンに触れても動作しないよう、パッド以外のボタン機能を一時的に無効(ロック状態)にします。

パッド、、は、ロック中も有効です。

	ロックする ：インジケーターが点灯するまで  を長く押し続ける
	ロック解除する ：インジケーターが消灯するまで  を長く押し続ける

NOTE

- ・パネルロックの状態でも、で電源をオフにすることはできます。

レジストレーションメモリー

選択中のキットやエフェクト設定、トリガー設定など、現在の設定をボタンに登録しておき、いつでもワンタッチで呼び出せます。これをレジストレーションメモリー機能と呼びます。

本製品には2つまで設定を登録できます。

登録する：音声ガイドのアナウンスがあるまで   のどちらかを長く押し続けると、押し続けたボタンに現在の設定が登録される

レジストレーションメモリーに設定が登録できる項目については、[設定項目一覧](#)をご覧ください。

呼び出す：   のどちらかを短く押すと、登録されている設定が呼び出される

ご注意

ボタンを長く押し続けると、設定は呼び出されず、現在の設定が上書きで登録されます。

NOTE

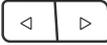
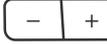
最後に操作したレジストレーションメモリーを初期化したいときは、「メニュー54 [Registration Memory Initialize](#)」で初期化します。

レジストレーションメモリーに登録される設定

- ・ [キット番号](#)
- ・ [テンポ](#)
- ・  [メニュー1-5](#) ミキサー関連設定（音量調節）
- ・  [メニュー6-9](#) クリック関連設定
- ・  [メニュー10-34](#) キット関連設定
- ・  [メニュー36-53](#) トリガー番号(36)、トリガー関連設定(37-52)
- ・  [メニュー55-62](#) ユーティリティ設定

本製品の設定を変えるメニュー[1-64]

⚙️の下にあるボタンで、本製品の各種設定を変更できます。

	<p>1.   で設定したい項目を選びます。 長く押し続けると、項目が連続して変化します。   を同時に押すと、1 番目の設定項目に戻ります。</p> <p>2.   で値を変更します。 長く押し続けると、値が連続して変化します。   を同時に押すと、各設定項目の初期値に戻ります。</p> <p>NOTE  を押しながら、 または  を押すと、各メニューカテゴリーの先頭まで飛ぶことができます。</p>
---	--

メニューカテゴリー一覧

- [メニュー1-5](#) ミキサー関連設定（音量調節）
- [メニュー6-9](#) クリック関連設定
- [メニュー10-34](#) および [メニュー35](#) キット関連設定(10-34)、およびキットの初期化
- [メニュー36-52](#) および [メニュー53](#) トリガー番号(36)、トリガー関連設定(37-52)、およびトリガーの初期化(53)
- [メニュー54](#) レジストレーションメモリーの初期化
- [メニュー55-62](#) ユーティリティ設定
- [メニュー63](#) すべての設定を初期化
- [メニュー64](#) バージョン確認

NOTE

- ほとんどの項目(メニュー1-34、36-52、55-62) は、[レジストレーションメモリー](#)への登録対象です。
- ほとんどの項目(メニュー1-34、36-52、55-62) は、本製品をオフにしても設定が維持されます。詳細は[こちら](#)。
- 初期値につき、メニュー10-34 では各キットにより固有の値が、メニュー37-52 では各

トリガーにより固有の値が、それぞれ設定されています。

[1-5] ミキサー

⚙️メニュー1-5は、本製品のサウンド各パートの音量を調整する設定項目です。◀ ▶
で各項目を選択すると、音声ガイドが「番号→「Mixer (ミキサー)」の順でアナウンスします。

番号	項目(音声)	説明	設定範囲	初期値
1	Mixer Click Volume	クリック音の音量を調節します。	0-32	22
2	Mixer Aux In Audio Volume	[AUX IN]端子から製品本体に入力されるオーディオの音量を調節します。	0-32	12
3	Mixer USB Audio Volume	[USB TO HOST]端子から製品本体に入力されるオーディオの音量を調節します。	0-32	24
4	Mixer Operation Sound Volume	ボタン操作をしたときに鳴る音量を調節します。	0-32	14
5	Mixer Voice Guide Volume	音声ガイドの音量を調節します。	0-32	10

[6-9] クリック

⚙️メニュー6-9は、クリック関連の設定項目です。◀▶で各項目を選択すると、音声ガイドが「番号→「Click (クリック)」の順でアナウンスします。

番号	項目(音声)	説明	設定範囲	初期値
6	Click Pattern	クリック音のリズムパターンを選びます。 1拍を4分音符として、設定値が1/4の場合は4分音符、1/8の場合は8分音符、1/16の場合は16分音符の間隔でクリック音が鳴ります。末尾にT (Triplet) が付いている場合は、それぞれの3連符で鳴ります。SonClave や RumbaClave の場合は、ラテン音楽におけるクラベのパターンで鳴ります。	1/4, 1/4 Triplet, 1/8, 1/8 Triplet, 1/16, 1/16 Triplet, 3-2 Son Clave, 2-3 Son Clave, 3-2 Rumba Clave, 2-3 Rumba Clave	1/4
7	Click Beats	クリック音の1小節あたりの拍数を選びます。	1-16	4
8	Click Voice	クリック音の音色を選びます。	Metronome 1, Metronome 2, Cowbell, Drumsticks, Claves, Human 1, Human 2	Metronome 1
9	Click Count Off Bar	「1」または「2」に設定することにより、演奏開始前のカウントとしてクリック音を1または2小節だけ再生し、オフ(停止)することができます。「Off」にすると、クリック停止の操作をするまで、クリック音は鳴り続けます。	Off, 1, 2	Off

[10-34] キット

⚙️メニュー10-34 は、現在選択中のキットに関する設定項目です。

- ・初期値は各キット固有に設定されています。
- ・⚙️メニュー17-34 については、対象となるパッドを叩いてから値を設定してください。

[10-16] キット関連設定

⚙️メニュー10-16 は、現在選択中のキットに関する設定項目です。◀▶で各項目を選択すると、音声ガイドが「番号→Kit (キット)」の順でアナウンスします。

番号	項目(音声)	説明	設定範囲
10	Kit Volume	キットの音量を調節します。	0-127
11	Kit Reverb Type	キットにかけるリバーブエフェクトの種類を選びます。	リバーブタイプリスト を参照
12	Kit Reverb Send	キットにかけるリバーブエフェクトのかかり具合(センド量)を調節します。各パッド音へのかかり具合は、「⚙️メニュー31 Kit Voice Reverb Send 」での設定値との掛け算になります。	0-127
13	Kit Chorus Type	キットにかけるコーラスエフェクトの種類を選びます。	コーラスタイプリスト を参照
14	Kit Chorus Send	キットにかけるコーラスエフェクトのかかり具合(センド量)を調節します。各パッド音へのかかり具合は、「⚙️メニュー32 Kit Voice Chorus Send 」での設定値との掛け算になります。	0-127
15	Kit Variation Type	キットにかけるバリエーションエフェクトの種類を選びます。	バリエーションエフェクトタイプリスト を参照
16	Kit Variation Send	キットにかけるバリエーションエフェクトのかかり具合(センド量)を調節します。各パッド音へのかかり具合は、「⚙️メニュー33 Kit Voice Variation Send 」での設定値との掛け算になります。	0-127

リバーブタイプリスト

番号	リバーブタイプ名(音声)
1	No Effect
2	Room 1
3	Room 2
4	Room 3
5	Room 4
6	Hall
7	Stage
8	Plate
9	Early Reflection
10	Gate Reverb 1
11	Gate Reverb 2
12	Reverse Gate

コーラスタイプリスト

番号	コーラスタイプ名(音声)
1	No Effect
2	Distortion
3	Overdrive
4	Amp Simulator
5	Chorus 1
6	Chorus 2
7	Flanger
8	Phaser
9	Auto Wah
10	Ring Modulator
11	Delay Doubling

バリエーションタイプリスト

番号	バリエーションタイプ名(音声)
1	No Effect
2	Compressor
3	V Distortion Hard
4	V Distortion Hard + Delay
5	Tempo Delay 1 8th
6	Tempo Delay 1 Triplet
7	Tempo Delay 1 Dotted
8	Tempo Delay 2 8th
9	Tempo Delay 2 Triplet
10	Tempo Delay 2 Dotted
11	Delay LCR
12	Cross Delay 1
13	Cross Delay 2
14	Echo
15	Deep Chorus
16	Phaser
17	Dynamic Phaser
18	GM Flanger
19	Dynamic Flanger
20	Ring Modulator
21	Dynamic Ring Modulator
22	Auto Wah
23	Touch Wah
24	Dynamic Filter

[17-22] パッド関連設定

⚙️メニュー17-22 は、各キットの各パッドに関する設定項目です。◀▶で各項目を選

択すると、音声ガイドが「番号→Kit Pad (キットパッド)」の順でアナウンスします。項目が選択されたら、対象となるパッドを叩いてから値を設定します。

番号	項目(音声)	説明	設定範囲
17	Kit Pad Note On Mute	発音中のパッドでノートオン出力操作(パッドをもう1回叩く)をしたときに、音を消す「On」か、消さない「Off」か、を設定します	Off, On
18	Kit Pad Note Off Mute	発音中のパッドでノートオフ出力操作(パッドを押し込まない)をしたときに、音を消す「On」か、消さない「Off」かを設定します。	Off, On
19	Kit Pad Choke Group	パッドを叩くことで、他のパッドも含め発音中のパッド音を自然に消音できます。この消音対象になるパッド群をチョークグループとして、16個まで設定できます。ここでは、指定パッドをチョークグループのいずれかに登録します。	Off, 1-16
20	Kit Pad Choke Mode	指定パッドを、チョークグループの中で消音指示を送る側とする(Send)か、消音指示を受ける側とする(Receive)かを設定します。	Send, Receive, Send&Receive
21	Kit Pad Link Group	パッドを叩くことで、他のパッド音も同時に鳴らせます。この同時に鳴らすパッド群をリンクグループとして、16個まで設定できます。ここでは、指定パッドをリンクグループのいずれかに登録します。	Off, 1-16
22	Kit Pad Link Mode	指定パッドを、リンクグループの中で発音指示を送る側とする(Send)か、発音指示を受ける側とする(Receive)かを設定します。	Send, Receive, Send&Receive

[23-33] ボイス関連設定

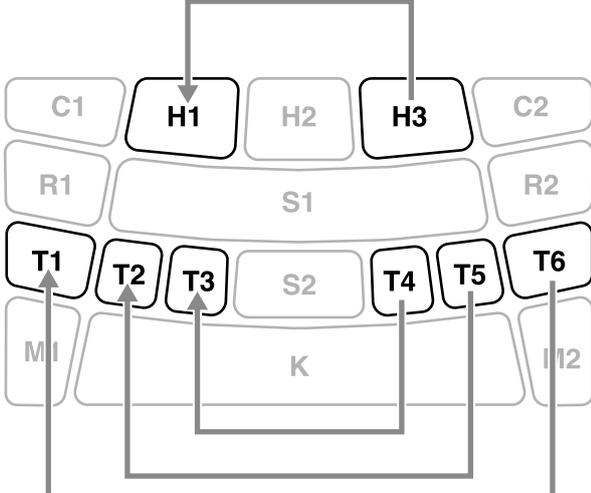
⚙️メニュー23-33は、各キットの各パッドに割り当てられているボイスに関する設定項目です。◀▶で各項目を選択すると、音声ガイドが「番号→Kit Voice (キットボイス)」の順でアナウンスします。項目が選択されたら、対象となるパッドを叩いてから値を設定します。

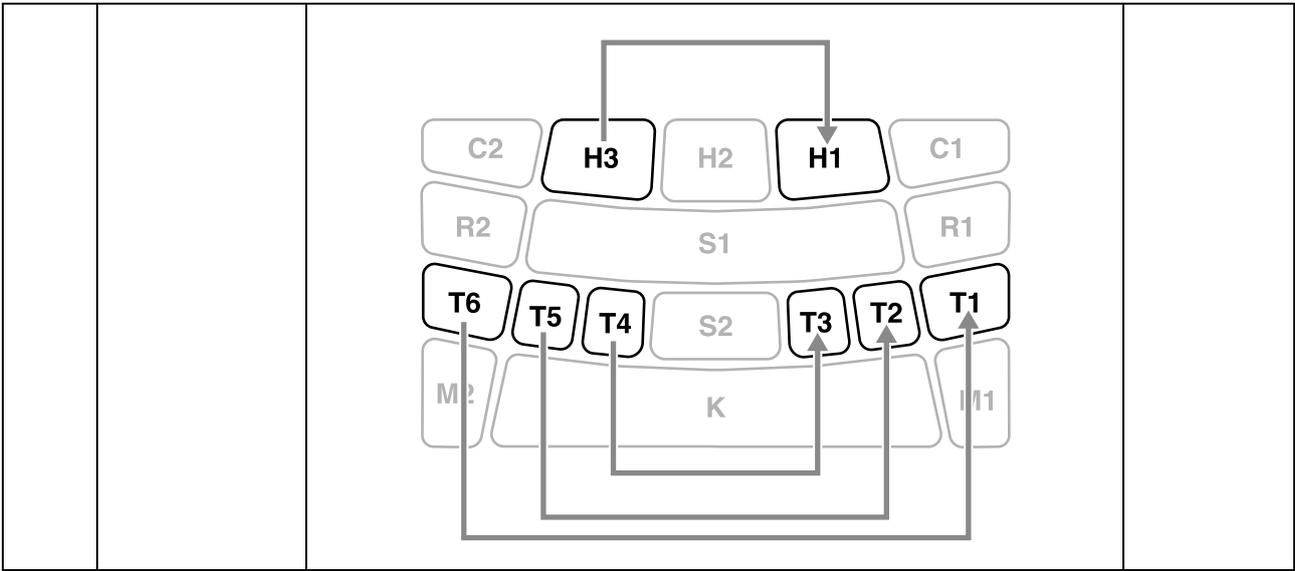
番号	項目(音声)	説明	設定範囲
23	Kit Voice Category	指定パッドのボイスのカテゴリを選択します。 ◀▶でカテゴリを切り替える度、カテゴリの先頭のボイスが設定されて、試聴音(オーディオ)	ボイスカテゴリリスト参照

		イション) が鳴ります。	
24	Kit Voice Number	指定パッドのボイスを選択します。  でボイスを切り替える度、試聴音 (オーディション) が鳴ります。	ボイスリスト 参照
25	Kit Voice Volume	指定パッド音の音量を調節します。	0-127
26	Kit Voice Pan	指定パッド音のパン(ステレオ定位)を設定します。	Left 63-Center-Right 63
27	Kit Voice Tuning	指定パッド音の音高を設定します (1.0=100cent=半音)。たとえば、スネアドラムであれば値が大きいほどハイピッチチューニングになり、シンバルであれば値が小さいほど直径が大きくなるような効果になります。	-24.0-0.0-+24.0
28	Kit Voice Decay	指定パッド音のディケイ(音が鳴ってから消えるまでの時間)を設定します。たとえば、スネアドラムであれば値が小さいほどヘッドをミュートしたような効果が得られ、シンバルであれば値が小さいほどサステインが短くなるような効果が得られます。ハイハットオープンであれば、値が小さいほどハーフオープンを閉じていくような効果が得られます。	-64-0
29	Kit Voice Cutoff	指定パッド音にかけるフィルターのカットオフ周波数を設定します。	-64-0-+63
30	Kit Voice Resonance	指定パッド音にかけるフィルターの Q を設定します。	-64-0-+63
31	Kit Voice Reverb Send	指定パッド音にかけるリバーブエフェクトのかかり具合(センド量)を調節します。各パッド音へのかかり具合は、「  メニュー12 Kit Reverb Send 」での設定値との掛け算になります。	0-127
32	Kit Voice Chorus Send	指定パッド音にかけるコーラスエフェクトのかかり具合(センド量)を調節します。各パッド音へのかかり具合は、「  メニュー14 Kit Chorus Send 」での設定値との掛け算になります。	0-127

33	Kit Voice Variation Send	指定パッド音にかけるバリエーションエフェクトのかかり具合(センド量)を調節します。各パッド音へのかかり具合は、「  メニュー16 Kit Variation Send 」での設定値との掛け算になります。	0-127
----	---------------------------------	--	-------

[34] 左右対称パッドの設定連動

番号	項目(音声)	説明	設定範囲
34	Kit Interlock Edit	<p>キットの設定の変更時に、左右対称のパッドの組 (H1 と H3、T1 と T6、T2 と T5、T3 と T4) の反対側のパッドの設定も連動して変更する(On)か、しない(Off)かを設定します。ここで Off から On に切り替えると、以下の通り、左右対称のパッドの組は同じ設定になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メニュー59 Utility Pad Layout = 「Right」の場合、右側のパッドの設定が左側のパッドに適用されます。  <ul style="list-style-type: none"> ・ メニュー59 Utility Pad Layout = 「Left」の場合、左側のパッドの設定が右側のパッドに適用されます。 	Off, On



[35] キットの初期化

番号	項目(音声)	説明
35	Kit Initialize	各キットにつき、  メニュー 10-34 の設定値が初期化されます。

1.   で、初期化したいキットを選ぶ。
2.   で、「メニュー35 Kit Initialize」を選ぶ。
3.  を押すと、初期化してよいかの音声アナウンスします。ここで  を押すと、初期化を実行せずキャンセルできます。
4. 再度  を押すと、キットの設定状態が初期化されます。

[36-52] トリガー

⚙️メニュー36 はトリガーの選択、⚙️メニュー37-52 は現在選択中のトリガーに関する設定項目です。◀▶で各項目を選択すると、音声ガイドが「番号→Trigger (トリガー)」の順でアナウンスします。

- ⚙️メニュー37-52 の初期値は各トリガー固有に設定されています。
- ⚙️メニュー37-52 については、対象となるパッドを叩いてから値を設定してください。

[36] トリガー選択

番号	項目(音声)	説明	設定範囲	初期値
36	Trigger Select	こちら をご参照ください。	1-12	1

トリガーリスト

番号	トリガー名(音声)	説明
1	Normal Tx	全パッドの「⚙️メニュー43 Trigger Note Velocity Curve 」と「⚙️メニュー50 Trigger After Touch Curve 」が「Normal」に設定されています。また、全パッドの「⚙️メニュー38 Trigger MIDI Note Number 」が、GM(General MIDI) Drum Map を基本として設定されています。この設定は、本製品から MIDI を送信して外部音源などをコントロールすることを想定しています。
2	Loud 1 Tx	全パッドの「⚙️メニュー43 Trigger Note Velocity Curve 」と「⚙️メニュー50 Trigger After Touch Curve 」が「Loud 1」に設定されています。また、全パッドの「⚙️メニュー38 Trigger MIDI Note Number 」が、GM(General MIDI) Drum Map を基本として設定されています。この設定は、本製品から MIDI を送信して外部音源などをコントロールすることを想定しています。
3	Loud 2 Tx	全パッドの「⚙️メニュー43 Trigger Note Velocity Curve 」と「⚙️メニュー50 Trigger After Touch Curve 」が「Loud 2」に設定されています。また、全パッドの「⚙️メニュー38 Trigger MIDI Note Number 」が、GM(General MIDI) Drum

		Map を基本として設定されています。この設定は、本製品から MIDI を送信して外部音源などをコントロールすることを想定しています。
4	Hard 1 Tx	全パッドの「  メニュー43 Trigger Note Velocity Curve 」と「  メニュー50 Trigger After Touch Curve 」が「Hard 1」に設定されています。また、全パッドの「  メニュー38 Trigger MIDI Note Number 」が、GM(General MIDI) Drum Map を基本として設定されています。この設定は、本製品から MIDI を送信して外部音源などをコントロールすることを想定しています。
5	Hard 2 Tx	全パッドの「  メニュー43 Trigger Note Velocity Curve 」と「  メニュー50 Trigger After Touch Curve 」が「Hard 2」に設定されています。また、全パッドの「  メニュー38 Trigger MIDI Note Number 」が、GM(General MIDI) Drum Map を基本として設定されています。この設定は、本製品から MIDI を送信して外部音源などをコントロールすることを想定しています。
6	Fixed Tx	全パッドの「  メニュー42 Trigger Note Velocity Fixed Value 」と「  メニュー49 Trigger After Touch Fixed Value 」が「127」に設定されています。また、全パッドの「  メニュー38 Trigger MIDI Note Number 」が、GM(General MIDI) Drum Map を基本として設定されています。この設定は、本製品から MIDI を送信して外部音源などをコントロールすることを想定しています。
7	Normal Rx	全パッドの「  メニュー43 Trigger Note Velocity Curve 」と「  メニュー50 Trigger After Touch Curve 」が「Normal」に設定されています。また、全パッドの「  メニュー38 Trigger MIDI Note Number 」が連番になるよう設定されています。この設定は、外部から MIDI を受信して本製品の音源がコントロールされることを想定しています。
8	Loud 1 Rx	全パッドの「  メニュー43 Trigger Note Velocity Curve 」と「  メニュー50 Trigger After Touch Curve 」が「Loud 1」に設定されています。また、全パッドの「  メニュー38 Trigger MIDI Note Number 」が連番になるよう設定されています。この設定は、外部から MIDI を受信して本製品の音源がコントロールされることを想定しています。
9	Loud 2 Rx	全パッドの「  メニュー43 Trigger Note Velocity Curve 」と「  メニュー50 Trigger After Touch Curve 」が「Loud 2」

		に設定されています。また、全パッドの「  メニュー38 Trigger MIDI Note Number 」が連番になるよう設定されています。この設定は、外部から MIDI を受信して本製品の音源がコントロールされることを想定しています。
10	Hard 1 Rx	全パッドの「  メニュー43 Trigger Note Velocity Curve 」と「  メニュー50 Trigger After Touch Curve 」が「Hard 1」に設定されています。また、全パッドの「  メニュー38 Trigger MIDI Note Number 」が連番になるよう設定されています。この設定は、外部から MIDI を受信して本製品の音源がコントロールされることを想定しています。
11	Hard 2 Rx	全パッドの「  メニュー43 Trigger Note Velocity Curve 」と「  メニュー50 Trigger After Touch Curve 」が「Hard 2」に設定されています。また、全パッドの「  メニュー38 Trigger MIDI Note Number 」が連番になるよう設定されています。この設定は、外部から MIDI を受信して本製品の音源がコントロールされることを想定しています。
12	Fixed Rx	全パッドの「  メニュー42 Trigger Note Velocity Fixed Value 」と「  メニュー49 Trigger After Touch Fixed Value 」が「127」に設定されています。また、全パッドの「  メニュー38 Trigger MIDI Note Number 」が連番になるよう設定されています。この設定は、外部から MIDI を受信して本製品の音源がコントロールされることを想定しています。

[37-39] MIDI 関連設定

番号	項目(音声)	説明	設定範囲
37	Trigger MIDI Channel	指定パッドが MIDI 送受信する際の、MIDI チャンネルを設定します。	1-16
38	Trigger MIDI Note Number	指定パッドが MIDI 送受信する際の、MIDI ノートナンバーを設定します。	1(C#-2)-127(G8)
39	Trigger MIDI Receive Pad	指定パッドの MIDI ノートナンバーおよび MIDI チャンネルの MIDI メッセージを受信したときに、指定パッドを操作したとみなす(On)/みなさない(Off)を設定します。	Off, On

[40] ノート/アフタータッチ共通設定

番号	項目(音声)	説明	設定範囲
40	Trigger A/D Gain	指定パッドを操作したときの強さをベロシティーやアフタータッチに変換する前に増幅する量を選びます。パッドを強く演奏したときにベロシティーやアフタータッチが最大になるように調整すると、ダイナミックレンジを広く確保できます。	0-127

[41-45] ノート関連設定

番号	項目(音声)	説明	設定範囲
41	Trigger Note Output	指定パッドのノート出力のオン/オフを選びます。	Off, On
42	Trigger Note Velocity Fixed Value	指定パッドのベロシティーを固定する (1-127)か、しないか(Off) を設定します。1-127 のいずれかを選ぶと、パッドを叩いた強さにかかわらず選択した値がベロシティーになります。Off にすると、ベロシティーはパッドを叩いた強さに応じた値になります。叩いた強さとベロシティーの関係については、「  メニュー43 Trigger Note Velocity Curve」(次項目)によって決まります。	Off, 1-127
43	Trigger Note Velocity Curve	指定パッドの ベロシティーカーブ を選択します。	Loud 2, Loud 1, Normal, Hard 1, Hard 2, Fix 1-5, Spline 1 1-5, Spline 2 1-5, Offset 1-5
44	Trigger Note Velocity Minimum	指定パッドのベロシティーの下限值を設定します。パッドを叩いたときのベロシティーがここでの設定値を下回った場合、ここでの設定値がベロシティーになります。	1-127
45	Trigger Note Velocity Maximum	指定パッドのベロシティーの上限値を設定します。パッドを叩いたときのベロシティーがここでの設定値を上回った場合、ここでの設定値がベロシティーになります。	1-127

[46-52] アフタータッチ関連設定

番号	項目(音声)	説明	設定範囲
46	Trigger After Touch Output	指定パッドのアフタータッチ出力のオン/オフを選びます。	Off, On
47	Trigger After Touch Type	指定パッドのアフタータッチ出力の種類を、チャンネルアフタータッチとするかポリフォニックアフタータッチとするか、を選びます。	Channel, Poly
48	Trigger After Touch Priority	指定パッドのアフタータッチ出力中に指定パッドを叩いたとき、叩いたパッドのノートを出力するか(Low)/しないか(High)を選びます。	Low, High
49	Trigger After Touch Fixed Value	指定パッドのアフタータッチを固定する (1-127) か、しないか(Off) を設定します。1-127 のいずれかを選ぶと、パッドを押し込んだ強さにかかわらず選択した値がアフタータッチになります。Off にすると、アフタータッチはパッドを押し込んだ強さに応じた値になります。押し込んだ強さとアフタータッチの関係については、「  メニュー50 Trigger After Touch Curve」(次項目)によって決まります。	Off, 1-127
50	Trigger After Touch Curve	指定パッドの アフタータッチカーブ を選択します。	Loud 2, Loud 1, Normal, Hard 1, Hard 2, Fix 1-5, Spline 1 1-5, Spline 2 1-5, Offset 1-5
51	Trigger After Touch Minimum	指定パッドのアフタータッチの下限値を設定します。パッドを押し込んだときのアフタータッチがここでの設定値を下回った場合、ここでの設定値がアフタータッチになります。	1-127
52	Trigger After Touch Maximum	指定パッドのアフタータッチの上限値を設定します。パッドを押し込んだときのアフタータッチがここでの設定値を上回った場合、ここでの設定値がアフタータッチになります。	1-127

[53] トリガーの初期化

番号	項目(音声)	説明
53	Trigger Initialize	各トリガーにつき、  メニュー37-52 の設定値が初期化されます。

1.   で、「メニュー36 [Trigger Select](#)」を選択します。
2.   で、初期化したいトリガーを選択します。
3.   で、「メニュー53 Trigger Initialize」を選択します。
4.  を押し、初期化してよいかの音声ガイドが流れます。
ここで  を押し、初期化を実行せずキャンセルできます。
5. もう一度  を押し、現在選択中のトリガーの設定状態が初期化されます。

[54] レジストレーションメモリーの初期化

番号	項目(音声)	説明
54	Registration Memory Initialize	レジストレーションメモリーに登録されている設定を、ボタンごとに個別に初期化します。

1. 初期化するレジストレーションメモリーを選択するために、のどちらかを長く押し続けます。長く押し続けることにより登録操作になるため、本製品の現在の設定が維持されます。
2. で「メニュー54 Registration Memory Initialize」を選択します。
3. を押すと、初期化してよいかの音声アナウンスされます。
4. ここでを押すと、初期化を実行せずキャンセルできます。
5. もう一度を押すと、現在選択中のレジストレーションメモリーの設定状態が初期化されます。

[55-62] ユーティリティー

⚙️メニュー55-62にはその他の有用な機能があります。◀▶で各項目を選択すると、音声ガイドが「番号→Utility (ユーティリティー)」の順でアナウンスします。

[55-56] サウンド出力

番号	項目(音声)	説明	設定範囲	初期値
55	Utility Speaker EQ/Compressor Type	<p>内蔵スピーカーからの音にかけるEQ(イコライザー)とコンプレッサーの種類を選びます。</p> <p>Standard 標準的な設定です。</p> <p>Heavy 低域を強調した設定です。迫力のある音になります。</p> <p>Bright 高域を強調した設定です。明るい音になります。</p> <p>Mild 高域を抑えた設定です。聴き心地が優しい音になります。</p> <p>Powerful 強めのコンプレッサーをかけた設定です。音圧を感じる音になります。</p>	Standard, Heavy, Bright, Mild, Powerful	Standard

56	Utility Speaker Output	<p>内蔵スピーカーの音が鳴る/鳴らない、を切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Off」に設定すると、内蔵スピーカーから音が出なくなります。 「Headphone Switch」に設定すると、[PHONES/OUTPUT]端子にケーブルが接続されているときは、内蔵スピーカーから音が出ず、接続されていないときは音が出ます。 「On」に設定すると、[PHONES/OUTPUT]端子の状態に関わらず、常に内蔵スピーカーから音が出ます。この設定値のときに[PHONES/OUTPUT]端子にケーブルが接続されていると、[PHONES/OUTPUT]用の音量や SpeakerEQ/Comp の設定が内蔵スピーカーの音にも適用されます。 	Off, Headphone Switch, On	Headphone Switch
----	-------------------------------	--	---------------------------	------------------

[57-58] USB オーディオ関連

番号	項目(音声)	説明	設定範囲	初期値
57	Utility USB Audio Loopback	<p>USB 接続した外部機器からのオーディオにつき、再度その機器に送り返す(On)/送り返さない(Off)を設定します。</p> <p>「On」に設定した場合、[USB TO HOST]端子とコンピューター/スマートデバイスなどの外部機器とを USB 接続することにより、オーディオループバックが構成されます。これにより、外部機器の音楽と本製品の演奏とをミックスした状態で、DAW などに録音できるようになります。</p>	Off, On	On
58	Utility USB Audio Output Gain	<p>USB 接続している外部機器にオーディオを出力する際の、音量の増幅量を設定します。プラス方向に設定すると音量が大きくなり、マイナス方向に設定すると音量が小さくなります。</p>	-18, -12, -6, 0, +6, +12, +18 dB	0 dB

ループ接続

1つのコンピューター/スマートデバイスから、本製品の[AUX IN]端子と[USB TO HOST]端子の両方に接続している状態 (ループ接続の状態) では、ノイズが発生する場合があります。この場合、以下のような対策例があります。

- 本製品の[AUX IN]端子からケーブルをはずし、オーディオ通信を USB ケーブルだけとします。
- USB ケーブルを充電のために接続している場合は、接続先をコンピューター/スマートデバイスではなく USB アダプターなどの電源に変更してください。

[59-62] その他の設定

番号	項目(音声)	説明	設定範囲	初期値
59	Utility Pad Layout	パッドの番号 を左右反転します。 主に左手で演奏する場合は「Left」、主に右手で演奏する場合は「Right」に設定してください。	Left, Right	Right
60	Utility Audition Velocity	「  メニュー23 Kit Voice Category 」または「  メニュー24 Kit Voice Number 」において、パッド音(ボイス)を変更したときに鳴る試聴音(オーディション)のベロシティを設定します。	Off, 1-127	100
61	Utility Local Control	パッドと本製品の内部音源をつなぐ(On)か、切り離す(Off)かを設定します。通常はつなぐ(On)に設定されていればよいですが、接続先の MIDI 機器の音源だけを鳴らしたいときは Off に設定します。	Off, On	On
62	Utility Auto Power Off Time	無駄な電力消費を防ぐため、本製品は一定時間操作がないと自動的に電源がオフになります。ここでは、電源がオフになるまでの時間を設定します。詳細は こちら 。	Disabled, 5, 10, 15, 30, 60, 120 minutes	30 minutes

[63] すべての設定を初期化する

番号	項目(音声)	説明
63	Factory Reset	本製品のすべての設定を初期化します。

1.   で「メニュー63 Factory Reset」を選択します。
2.  を押すと、初期化してよいかの音声アナウンスされます。
ここで  を押すと、初期化を実行せずキャンセルできます。
3. もう一度  を押すと、本製品のすべての設定が初期化されます。

電源オンの操作時に初期化する

電源オンの操作時に初期化する方法もあります。 と  を同時に押しながら、 を押すと、スタンバイ/オンインジケータの左側(青)が5回点滅して、初期化が実行された状態で本製品が起動します。

[64] バージョン確認

番号	項目(音声)	説明
64	Version	本製品のファームウェアのバージョンを、音声で確認します。

1.   で「メニュー64 Version」を選択します。
2.  を押すと、ファームウェアのバージョンが音声ガイドでアナウンスされます。

仕様

品名		FGDP-30	
サイズ/質量	寸法 (幅×奥行×高さ)		223 × 195 × 49 mm
	質量		1.0 kg
パッド	ドラムパッド数		18
	トリガー数	プリセット	12
		ユーザー	プリセットを上書き
	アフタータッチ		Polyphonic, Channel
その他のインターフェース	音声ガイド		有(英語)
音源	タイプ		AWM2
	最大同時発音数		64
キット	キット数	プリセット	39
		ユーザー	プリセットを上書き
	キット編集		有(一部)
音色	音色数		1212
エフェクト	リバーブ数		11
	コーラス数		10
	バリエーションエフェクト数		23
	スピーカーEQ タイプ		5

品名		FGDP-30
クリック	テンポ	30 – 300, Tap Tempo
	パターン	1/4, 1/4T, 1/8, 1/8T, 1/16, 1/16T, Clave
	拍数	1 – 16
レジストレーション メモリー	プリセット	2 ボタン × 1 バンク
	ユーザー	プリセットを上書き
接続端子	PHONES/OUTPUT	ステレオミニ端子
	AUX IN	ステレオミニ端子
	USB TO HOST	Micro B
音響	アンプ出力	2.5 W
	内蔵スピーカー	4 cm × 1
電源部	定格電源	USB 電源アダプター 5 V/1.5 A 以上 USB BC 規格対応品
	内蔵電池	1400 mAh、4.5 Wh 約 3 時間
	消費電力	4 W

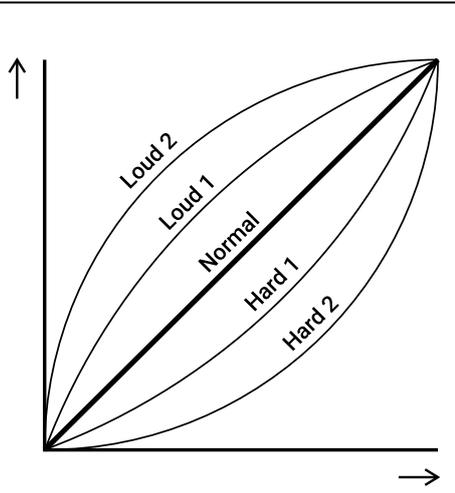
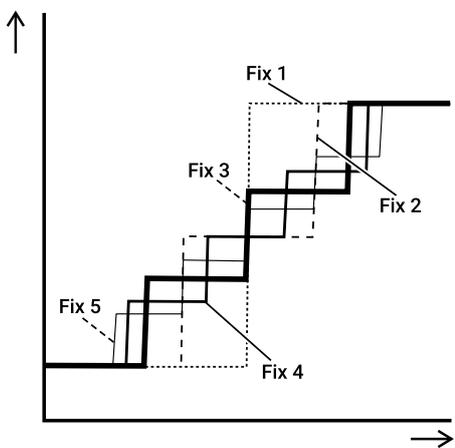
本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。

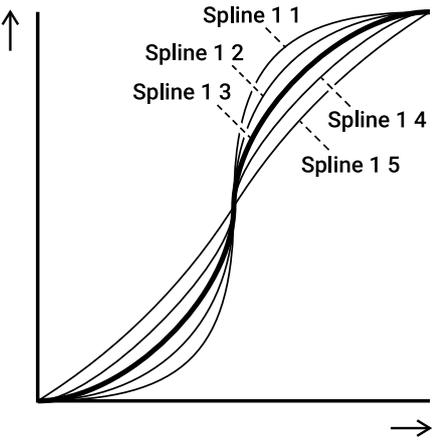
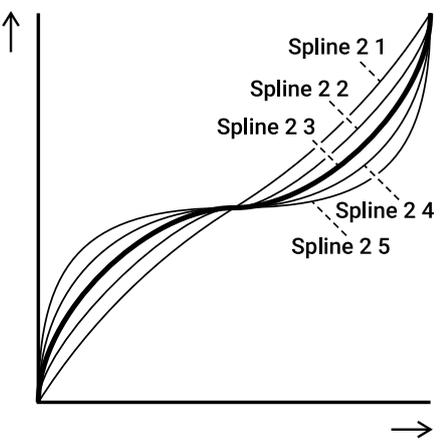
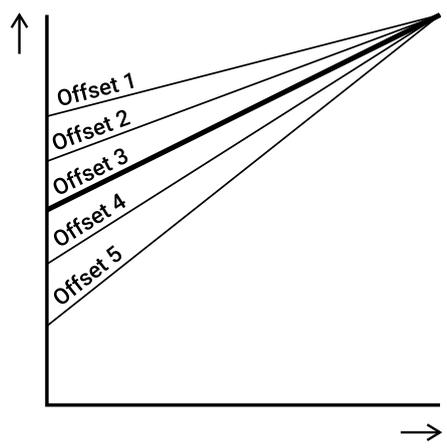
資料

ベロシティーカーブ/アフタータッチカーブ

パッドを操作したときの強さを数値に変換する際の対応カーブです。横軸が操作したときの強さ (叩いたときの強さ、または押し込んだときの強さ) で、縦軸が対応する数値 (ベロシティーまたはアフタータッチ) です。本製品では、ノートオン時のベロシティーとアフタータッチとでカーブが同じに設計されており、25 種類の中から選ぶことができます。カーブは、トリガーの設定項目として以下で選択できます。

- ベロシティーカーブとして選択する場合：⚙️メニュー43 [Trigger Note Velocity Curve](#)
- アフタータッチカーブとして選択する場合：⚙️メニュー50 [Trigger After Touch Curve](#)

設定値 (音声)	ベロシティーカーブ/アフタータッチカーブ
Loud 2 Loud 1 Normal Hard 1 Hard 2	
Fix 1 Fix 2 Fix 3 Fix 4 Fix 5	

設定値 (音声)	ベロシティーカーブ/アフタータッチカーブ
Spline 1 1 Spline 1 2 Spline 1 3 Spline 1 4 Spline 1 5	
Spline 2 1 Spline 2 2 Spline 2 3 Spline 2 4 Spline 2 5	
Offset 1 Offset 2 Offset 3 Offset 4 Offset 5	

コンテンツリスト

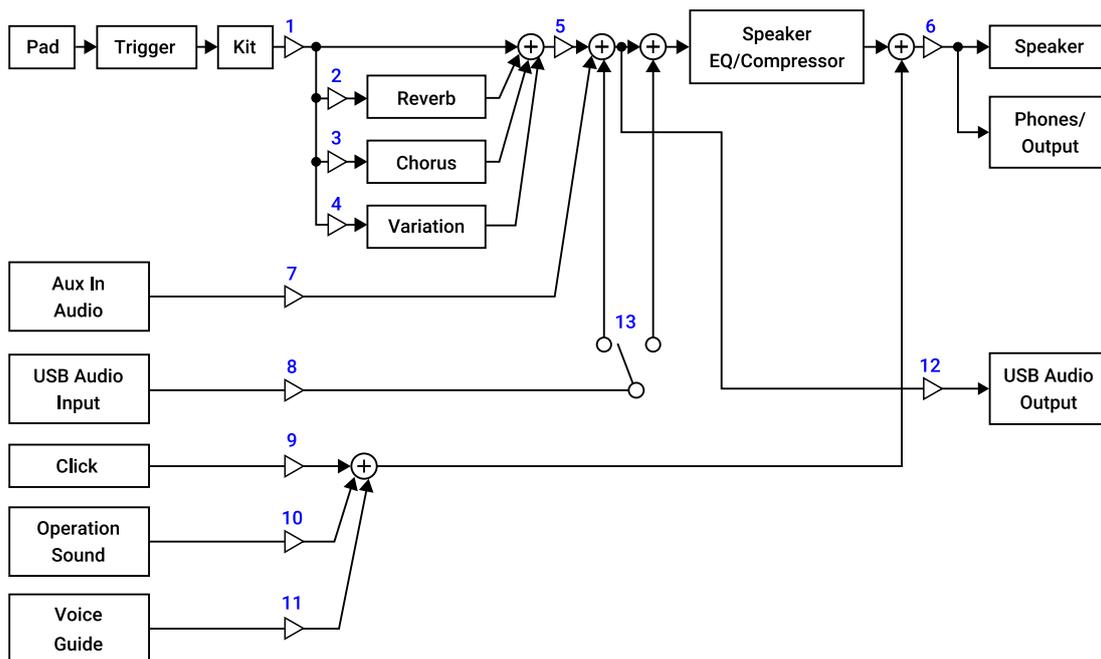
本製品に搭載されているコンテンツは以下のとおりです。リンク設定されているものは本ユーザーガイド内に掲載されています。

- [キットリスト](#)
- [ボイスカテゴリーリスト](#)
- ボイスリスト
- エフェクトタイプリスト ([リバーブ](#)、[コーラス](#)、[バリエーション](#))
- [トリガーリスト](#)

ボイスリストについてのみ、以下のウェブサイトから入手してください。以下のウェブサイトを開いたあと、「モデル名から検索」テキストボックスにモデル名「FGDP」などを入力し、検索を実行してください。

ヤマハ ダウンロード <https://download.yamaha.com/jp/>

ブロックダイアグラム



1. Voice Volume
2. Voice Reverb Send, Kit Reverb Send
3. Voice Chorus Send, Kit Chorus Send
4. Voice Variation Send, Kit Variation Send
5. Kit Volume
6. Speaker Volume, Phones/Output Volume
7. Aux In Audio Volume
8. USB Audio Volume
9. Click Volume
10. Operation Sound Volume
11. Voice Guide Volume
12. USB Audio Output Gain
13. USB Audio Loopback

MIDI

MIDI(ミディ)は演奏情報をやりとりするための規格です。「MIDI 規格に対応している楽器」(以降、MIDI 機器)同士をケーブルで接続すると、ある MIDI 機器の演奏を接続先の別の MIDI 機器で鳴らせます。

演奏データ(MIDI メッセージ)の送受信

MIDI 機器と本製品を付属の USB ケーブルで接続することで、MIDI 機器と本製品の間で MIDI メッセージの送受信ができます。本製品から送信されたパッド演奏の MIDI メッセージが MIDI 機器内の音源を鳴らしたり、MIDI 機器から送信された MIDI メッセージが本製

品の音源を鳴らしたりできます。

NOTE

本製品では、トリガーを選択することで MIDI に関する設定を呼び出せます。トリガーの選択方法は[こちら](#)を、トリガーリストは[こちら](#)をご参照ください。またトリガーを選択後は、以下の各項目で MIDI に関する設定をさらに変更できます。

-  メニュー37-39 [MIDI 関連設定](#)
-  メニュー40 [ノート/アフタータッチ共通設定](#)
-  メニュー41-45 [ノート関連設定](#)
-  メニュー46-52 [アフタータッチ関連設定](#)

MIDI 資料

本モデルの MIDI 資料として、以下 3 点があります。

- MIDI インプリメンテーションチャート
- MIDI チャンネルメッセージ
- MIDI システムエクスクルーシブメッセージ

MIDI 資料については、以下のウェブサイトから入手してください。以下のウェブサイトを開いたあと、「モデル名から検索」テキストボックスにモデル名「FGDP」などを入力し、検索を実行してください。

ヤマハ ダウンロード <https://download.yamaha.com/jp/>

困ったときは

電源

問題	考えられる原因	解決方法
電源が入らない。	バッテリー残量が少ない。	こちら の説明に沿って充電をしてください。
電源が勝手に切れる。	バッテリー残量が少ない。	こちら の説明に沿って充電をしてください。
	オートパワーオフが動作した。	こちら の説明に沿ってオートパワーオフを無効にするか、長めの時間を設定してください。
充電中なのに、電源が勝手に切れる。	コンピューターと接続しているなど、充電用の電流が少ない状態で、本製品のスピーカーから大音量でサウンドを出力している。	こちら の説明に沿って充電をしてください。また、本体スピーカーではなく、[PHONES/OUTPUT]端子に外部オーディオ機器を接続してサウンドを出力してください。

音が出ない

問題	考えられる原因	解決方法
音が出ない。	スピーカーから音が出ない設定になっている。	「  メニュー56 Utility Speaker Output 」を「Off」以外にしてください。
	[PHONES/OUTPUT]端子にオーディオケーブルが接続されている。	[PHONES/OUTPUT]端子に接続されているケーブルを抜くか、「  メニュー56 Utility Speaker Output 」を「On」にしてください。
	音量が小さく設定されている。	以下の説明を元に、音量を大きくしてください。 ・ 音量を調節する
	現在のトリガーで、パッドが発音しない設定になっている。	「  メニュー40 Trigger A/D Gain 」の値を大きくしてください。 「  メニュー41 Trigger Note Output 」を「On」にしてください。 「  メニュー42 Trigger Note Velocity Fixed 」

		<p>Value」を「Off」または大きな値にしてください。</p> <p>「メニュー46 Trigger After Touch Output」を「On」にしてください。</p> <p>「メニュー49 Trigger After Touch Fixed Value」を「Off」または大きな値にしてください。</p>
	「  メニュー61 Utility Local Control 」が「Off」になっている。	「  メニュー61 Utility Local Control 」を「On」にしてください。

発音/操作関連

問題	考えられる原因	解決方法
ノイズが発生する	コンピューターやスマートデバイスとの接続においてループ接続が構成されている。	こちら の説明をご参照ください。
	スマートデバイスが近くにある。	スマートデバイスの機内モードをオンにしてください。
複数の音の音量バランスが悪い。	一部の音の音量が大きく（または小さく）なっている。	以下の説明を元に、音量を調節してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 音量を調節する
エフェクトのかかり具合(センド量)を大きくしても、エフェクトがかからない	キット全体のセンド量またはパッドごとのセンド量の値が小さい。	キット全体のセンド量とパッドごとのセンド量の値を大きくしてください。キット全体のセンド量は こちら 、パッドごとのセンド量は こちら の表内をご参照ください。
パッドを強く（弱く）叩いてもノートオンのベロシティが大きく（小さく）	トリガーの設定が叩く強さ（弱さ）と合っていない。	こちら の説明に沿って別のトリガーを選択するか、以下の項目を変更してみてください。 <ul style="list-style-type: none"> • 各パッドの「メニュー42 Trigger Note Velocity Fixed Value」と「メニュー43 Trigger Note Velocity Curve」

く) ならない。		<ul style="list-style-type: none"> 各パッドの「メニュー44 Trigger Note Velocity Minimum」と「メニュー45 Trigger Note Velocity Maximum」 各パッドの「メニュー40 Trigger A/D Gain」
キットのパッドごとの設定が知らずに変わっていることがある。	「  メニュー34 Kit Interlock Edit 」が「On」になっている。	「  メニュー34 Kit Interlock Edit 」を「Off」にしてください。
ボタンを押しても何も動作しない。	パネルロックが有効になっている。	こちら の説明に沿って、パネルロックを無効にしてください。

その他

問題	考えられる原因	解決方法
本製品とスマートデバイスを USB 接続しても、スマートデバイス上で本製品が認識されない。	スマートデバイスが自身をホスト側(放電側)と誤認識し、自動的に接続を切った。	ケーブルを挿しなおしてみてください。本製品とスマートデバイスの接続については こちら 。